

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市山村振興事業補助金交付要綱
事業開始年度	平成10年度～		
総合計画	大項目 基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目 基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり
	小項目 施策	01	農業(農業振興地域以外の整備)
事務事業名	09	山村地域等振興事業	
問	担当課(室)	吉永総合支所 窓口管理課	
合	職・氏名	参事 高井 利広	
先	電話	0869-84-2513	
	このシート作成に要した時間	2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	山村振興地域(神根、三国地域)	
目的(何のために)	農山村地域活性化のため	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農林産物の展示販売を通し、地域PR及び県内外からの来訪者との交流を深める	

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	ふるさと交流まつり開催事業	八塔寺ふるさと村は、茅葺民家、のどかな田園風景などの地域資源を活かしながら、広域的な交流や地域の活性化を推進してきましたが、少子高齢化や過疎化の進行など、地域を取り巻く情勢が大きく変化しており、今後とも、地域間の連携を強化して、各種施策を展開する必要があります。 そこで、八塔寺地域内の地域づくりや広域的な交流連携を通して、活力ある地域づくりを推進するために必要な交流まつりを存続し、そして、自立したまつりへと発展させるため実行委員会が実施する、地域の活性化及び振興を図るためのイベント事業(八塔寺ふるさと交流まつり)に対し、補助金を交付する。		

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	千円	650	650	650	
	必要人員	人	0.10人	0.10人	0.15人	
	事業費	千円	1,522	1,572	2,115	
	国庫支出金	千円				
	受益者負担	千円				
繰入金	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	1,522	1,572	2,115		
受益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	結果指標量		2,500	2,500	500
	対前年比	%	-	100.0%	20.0%
	活動コスト	円	1,522,000	1,572,000	2,115,000
	単位当たりコスト		609	629	4,230

事業の成果		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
対前年度集客数	成果指標名	目標値(A)	3000	3000	3000	3000
		実績値(B)	2500	2500	500	到達目標値
		達成率(B/A)	83.33%	83.33%	16.67%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
前年度との集客数の比較 平成24年度は、11月15日(日)に開催したが、開催日の当日は15年ぶりの雨天で前年度に比べ来訪者は激減となった。						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	ふるさと交流まつり実行委員会による企画運営を実施している。定住自立圏補助金をいただく団体と協力し市民をはじめ市外へも積極的に八塔寺地区を中心にふるさと村の更なるPRを実施して行く。

総合評価		Action
地域活性化のために必要な行事であり、引続き交流まつりを開催する。予算削減により現状維持が難しくなりつつあるが市以外からの補助金等をいただく他団体との協力により継続が必要である。 平成24年度は、開催日の当日は15年ぶりの雨天で、来訪者は例年より大きく減少し残念な結果となった。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C	

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	各地域において、イベントがあり統合廃止も考えられるが、今後も地域活性化のためにも継続が望ましい。



事業の目的やその数値目標に留意しながら